

2019年11月12日

三井海洋開発株式会社
三井物産株式会社
株式会社商船三井
丸紅株式会社

ブラジル沖合プレソルト層ブジ奥斯鉦区向け

大水深対応 FPSO 傭船事業を三井海洋開発、三井物産、商船三井及び丸紅の4社で推進

三井海洋開発株式会社（本社：東京都中央区、社長：香西勇治、以下「三井海洋開発」）、三井物産株式会社（本社：東京都千代田区、社長：安永竜夫、以下「三井物産」）、株式会社商船三井（本社：東京都港区、社長：池田潤一郎、以下「商船三井」）及び丸紅株式会社（本社：東京都中央区、社長：柿木真澄、以下「丸紅」）の4社は、三井海洋開発が推進しているブラジル沖合ブジ奥斯（Búzios）鉦区向け FPSO（注1）1基の長期傭船事業（以下「本案件」）に対して三井物産、商船三井及び丸紅が出資することに合意し、11月12日付で関連諸契約を締結しました。

今回の合意は、三井海洋開発が設立済のオランダ法人 Buzios5 MV32 B.V.（以下「MV32社」）に三井物産、商船三井及び丸紅が出資参画し、4社で本案件を共同推進するものです。MV32社は、ブラジル国営石油会社である *Petróleo Brasileiro S.A.*（「ペトロブラス」）と2019年9月24日に21年間の長期傭船契約を締結済みです。

完工後に“FPSO *Almirante Barroso MV32*”と命名される本案件の FPSO は、2022年よりブラジル沖合のサントス（Santos）海盆内に位置するブジ奥斯鉦区の開発に投入される予定です。リオデジャネイロ市南東方沖合約180kmに位置する同鉦区は、海底下約5,000mのプレソルト層（岩塩層直下の層）にある海底油田の一部であり、本案件の FPSO は水深約1,900mの海上に係留されます。

本案件は、三井海洋開発、三井物産、商船三井及び丸紅が共同で取り組む7件目のブラジル向け FPSO 傭船事業となります。

注1) Floating Production, Storage & Offloading system : 浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備

<FPSO 概要>

原油生産能力	15 万バレル／日
ガス生産能力	212 百万立方フィート／日
原油貯蔵能力	140 万バレル
係留方式	スプレッド・ムアリング (多点係留)

<出資比率>

三井海洋開発株式会社	35.0%
三井物産株式会社	35.0%
株式会社商船三井	20.0%
丸紅株式会社	10.0%

<各社問い合わせ先>

■ 三井海洋開発株式会社

総務部

TEL : 03-5290-1200

FAX : 03-5290-1505

■ 三井物産株式会社

IR 部

TEL : 03-3285-7657

FAX : 03-3285-9821

■ 三井物産株式会社

広報部 報道室

TEL : 03-3285-7596

FAX : 03-3285-9819

■ 株式会社商船三井

コーポレートコミュニケーション部 メディア広報チーム

TEL : 03-3587-7015

FAX : 03-3587-7705

■ 丸紅株式会社

広報部 報道課

TEL : 03-3282-2452

FAX : 03-3282-2331